

世界初 「ガラスのギター」 完成



HARIOでは耐熱ガラス製品の芸術性を高め、ガラス加工技術を継承していくために芸術・工芸・技術のコラボレーションを行い、ガラスの楽器を発表してまいりました。2012年は「ガラスのギター」を発表し、2013年は15作目となる「ガラスのウクレレ」を発表しました。

「ガラスのギター」は、総制作費約1,000万円、10名の熟練した職人が作り上げた世界初のガラスでできた演奏用クラシックギターです。ガラスのギターは、外形寸法は約1,000mm×280mm(最大幅部)、肉厚は2.5～3.0mm、全重量約3.7kgとなっており、近年のクラシックギターより少し小さめのサイズで19世紀のヨーロッパの原型をもとにしています。装飾には手描きのペイントを施し、繊細でありながらガラスの美しさを引き出したデザインとなっています。

2011年9月からガラスの成形に入り、アクリル製のネック部分や音の調整をしながら約1年間を要してついに完成いたしました。音色の監修にはギタリストの村治佳織さんにも参加頂き、木のギターとは一味違う新しい音色が楽しめるギターに仕上がりました。



ガラスのバイオリン



ガラスのチェロ



ガラスの琴



ガラスの尺八

太鼓



小鼓



締太鼓



笛

